



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第10巻第7号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第10巻第7号). 泌尿器科紀要 1964, 10(7): 424-424

ISSUE DATE:

1964-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112573>

RIGHT:

## 編集後記

京大医学部ノ大学院生副手会ノ主催デ 東大物療内科講師 高橋暁正氏ヲ招キ「医学教育ノ問題点」トノ題目デ講演討論会ヲ開イタ 同氏ハコノ問題ニ就テノ造詣ガ深く 既ニ雑誌「自然」ニ論文ヲ発表シテイラレル。コノ講演ハ医科大学臨床教室ノ在リ方ヲ中心トスルモノデアリ ノノ論旨ヲ要約スルト次ノ如クデアル。

第一ニ教育機関トシテハ 学部教育ニテ 教育目標ノ整理ガ必要デアリ 教養学部ニオケル生物科学方法論ノ充実 病理過程(基礎医学)ト臨床医学トノ分離 基幹教育(内科 外科等)ト専門教育(耳鼻科 泌尿器科等)トノ区別 実習過程ノ強化 選択科目ヲ増シ 単位ノ取得ヲ全国各大学共通トスル。次ニ卒業後教育ニテハ 無給研修制度ヲ解消スル事ガ前提デアリ 医学ノ社会公共性ノ増大 資本投下ノ回収ノ困難 医学ノ科学性ノ増大 研修効率ヲアゲテノ期間ノ短縮 臨床的研修ト無関係ナ学位論文ノ切り離シ 専門医ノ資格ニ変エル事。第二ニ研究的診断機関トシテハ 先ズ臨床研究ニ於テ 医師ガ個人トシテデナク 一定ノ機構ノ下ニテ治効等ヲ決定シ 臓器個々デハナク 個体トシテ病像ヲ観察シ 生体ニテハ自然治癒ガ本態デアルト考エルベキデアル。標準治療ト新療法トヲ併用スベク 効果判定ニ当ツテハ自然治癒ト区別セネバナラス。次ニ学位論文ニ関シテハ 臨床医学ノ研修過程ニフサワシイモノニ 限定スベキデアル。臨床教室ニテ病理研究ヲ行ウノハ効率ガ低ク 更ニ臨床研究過程ヲ圧迫スル。学位論文ノ審査ハ各大学デヤラズニ全国的ナ機関ニテ行ウベキデアル。第三ニ上級診療機関トシテハ 臨床科(内科等)ヲ更ニ分科スルト共ニ綜合ノ面モ考慮スル。器官別 機能別各科ト一般医学トノ有機的結合デアル。診療所 地域センター病院 大学病院ノ間ノ有機的結合モ必要。次ニ上級医員ノ プール トシテノ性格バアルガ 地方ノ病院ヤ大学トノ封建的学閥の系列化ヲ排除セネバナラス。

大体ニ以上ノ如ク 現在ノ医制ニ関スル重要問題ハ殆ド論セラレタ 私ハ コレラニ就テ既ニ意見ヲ発表シタ点モアリ 又 コノ講演ニヨツテ 初メテ ハツキリト教エラレタ所モアル。私トシテハ以上ノ論旨ニ大体ニ賛成デアル。唯 重要ナ事ハ 個々ノ問題ヲ現実的ニ如何ニ解決シテユクカデアル。ソレハ仲々困難ヲ伴ウデアロウガ トニ角 可能ナ点カラ実行ニ移サネバナラス (昭和39年7月)。

### 購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部, 或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ), 住所(雑誌郵送先), 勤務先, 職地位, 自宅開業の別, 送金方法を御記入の上編集部宛。

### 投稿内規

1. 原稿の種類は綜説, 原著, 臨床報告, その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き, 当用漢字, 平仮名, 新仮名使いを用い, 片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表, 附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 年次。  
例. 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A. J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し, 之には欧文の標題, 所属機関名, ローマ字著者名を付け, なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁600円, それ以上の頁, フート頁, 図表, 写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈, それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし, 再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。